

2022年9月8日
東京九州フェリー株式会社
日本郵便株式会社
佐川急便株式会社

日本郵便と佐川急便が東京九州フェリーを活用した幹線共同輸送を開始
～ 環境負荷の低減およびドライバーの労働負担の削減を目指す～

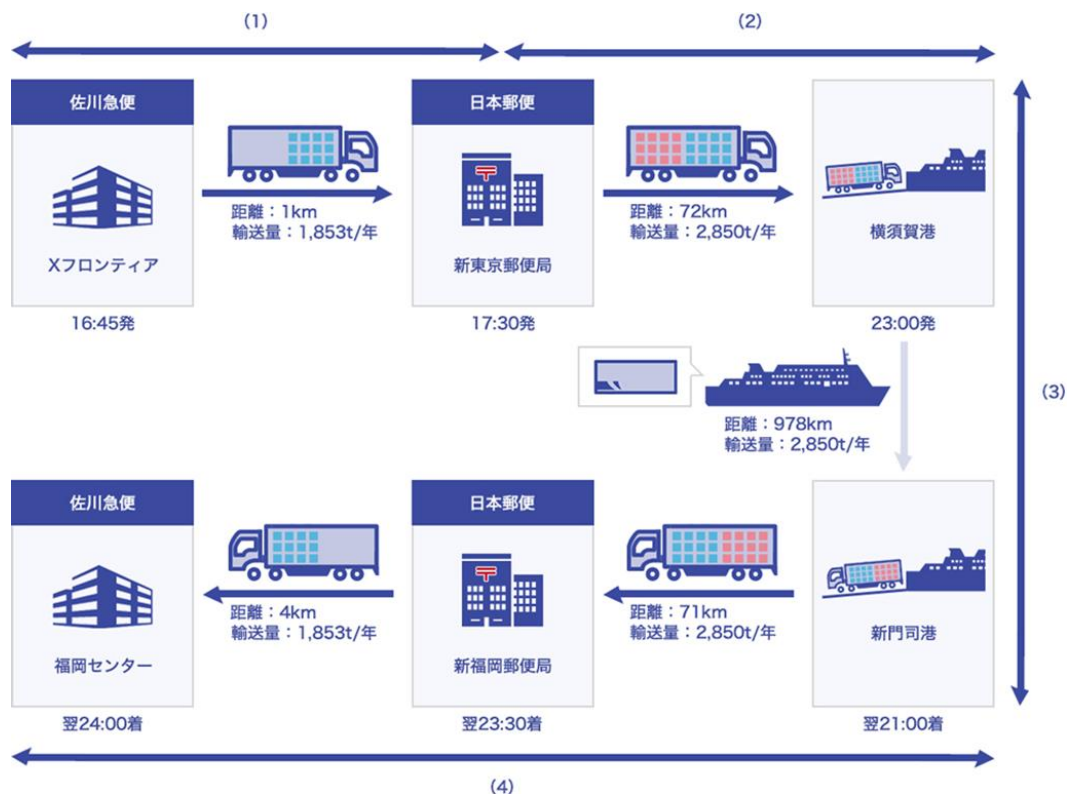
東京九州フェリー株式会社（福岡県北九州市、代表取締役社長 小笠原 朗／以下「東京九州フェリー」）、日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀／以下「日本郵便」）および佐川急便株式会社（京都府京都市南区、代表取締役社長 本村 正秀／以下「佐川急便」）は、2022年8月1日（月）から関東－九州間の幹線共同輸送を開始しました。本事業は、同年同日に、国土交通省から物流総合効率化法^(注1)の対象に認定されたものです。

1 概要

トラックを活用した宅配便輸送におけるCO₂排出量の削減や、長時間運行に起因するドライバーの労働負担の削減という課題を解決するため、東京九州フェリーと佐川急便は、2021年7月に関東－九州間のトラック長距離幹線輸送の一部を、横須賀－新門司航路の海上輸送に切り替えるモーダルシフトを実現しました。^(注2)

2022年8月からは日本郵便も参画し、幹線輸送を共同化することで更なる輸送の効率化を図るとともに、CO₂排出量の削減に寄与します。

2 運用スキーム



- (1) 佐川急便が関東近郊で集荷した九州向け宅配便荷物を、佐川急便・Xフロンティア（東京都江東区）でセミトレーラーに積み込んだ後、日本郵便・新東京郵便局（東京都江東区）に立ち寄り。
- (2) 日本郵便・新東京郵便局（東京都江東区）において、日本郵便が関東近郊で引き受けた九州向け郵便物などをセミトレーラーに積み合わせ、横須賀港へ輸送。
- (3) 横須賀港において、シャーシのみフェリーに積載し、横須賀港から新門司港まで海上輸送。
- (4) 新門司港に到着後、日本郵便・新福岡郵便局（福岡県福岡市）に立ち寄り、郵便物などを荷降ろし、その後、佐川急便・福岡センター（福岡県粕屋郡粕屋町）に輸送、宅配便荷物の荷降ろしを行う。

3 目標

佐川急便の宅配便荷物と日本郵便の郵便物などをセミトレーラーに積み合わせ、共同輸送を行うことで積載率が向上しました。加えて、トラックによる輸送をトレーラーおよびフェリー輸送に転換することで、佐川急便および日本郵便の本事業に係るCO₂排出量を205.6 t-CO₂/年（約59%）削減、トラックドライバーの運転時間を6,204時間/年（約90.7%）削減することを目標としています。

今後も環境負荷の低減を図るため、物流効率化を着実に進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【注釈】

（注1）物流総合効率化法

物流のさらなる総合化・効率化を図るために物流事業者や荷主などの関係者が連携して取り組むモーダルシフト、共同配送等を後押しすることを内容とした法律です。

（注2）参考：第23回物流環境大賞「低炭素物流推進賞」を受賞

https://www2.sagawa-exp.co.jp/newsrelease/detail/2022/0628_1912.html

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】

東京九州フェリー株式会社

旅客 電話：03-5860-9488

貨物 電話：03-5860-9489

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

電話：0120-23-28-86（フリーダイヤル）

※携帯電話からご利用のお客さま

0570-046-666（通話料はお客さま負担です）

ご案内時間

平日 8:00～21:00

土・日・休日 9:00～21:00

佐川急便株式会社

輸送ネットワーク部 輸送企画課

電話：03-3699-3023